

神経・運動・皮膚・感覚器学

担当講座	内科学講座 脳神経内科・老年科分野	問合せ先	脳神経内科・老年科分野
分野責任者	前田 哲也 教授	連絡先	内線6431
担当教員	(脳神経内科・老年科分野) 前田 哲也 教授 板橋 亮 教授 工藤 雅子 講師 高橋 真 講師 鈴木 真紗子 講師 大浦 一雅 講師 石塚 直樹 講師 (脳神経外科学講座) 脳神経外科学講座教授 久保 慶高 非常勤講師 吉田 研二 特任准教授 西川 泰正 講師 (眼科学講座) 黒坂 大次郎 教授 田中 三知子 講師 (耳鼻咽喉科頭頸部外科学講座) 志賀 清人 教授 片桐 克則 准教授 (皮膚科学講座) 天野 博雄 教授 馬場 俊右 講師 角田 加奈子 講師 三浦 慎平 講師 (整形外科科学講座) 土井田 実 教授 佐藤 光太郎 講師 菅原 敦 講師 山部 大輔 助教 (形成外科学講座) 櫻庭 実 教授 本多 孝之 特任准教授		
人材育成の 基本理念	神経系、運動機能、感覚機能に帰属する運動、感覚に関わる全人的な専門医学知識を身につけ、様々な専門領域における研究シーズ開発の準備ができる研究者を育成する。		
主な研究内容	脳神経疾患に関わる運動器および感覚器の代表的疾患について、内科学的、外科学的な基本的知識を学び、その知識をもとに実践につながる応用力、未解明分野を研究する力を身につける。		
教育成果 (アウトカム)	教育成果	該当するディプロマポリシー	
	脳神経疾患に関わる運動器および感覚器の代表的疾患について、内科学的、外科学的な基本的知識を学ぶことにより、その知識を基に実践につながる応用力、未解明分野を研究する力を身につけた臨床医・研究者となる。	1, 2, 3, 4, 5, 6	
達成目標	達成目標	対象科目	
	(1)生命科学や、医療行為のための基本的な知識・技能を活用できる。	医学概論	
	(2)計画に従って適切な研究を実施できる。	特別研究	
	(3)研究結果を適切にまとめ、発表できる。	特別研究	
	(4)高い専門知識や熟練した技能・技術で、多職種連携業務に貢献できる。	多職種連携チーム医療	
	(5)次世代の育成に貢献できる。	特別研究I・II	
	(6)脳神経内科領域の医学基礎知識について修得できる。	脳神経内科学基礎修練1、2	
	(7)脳神経外科領域の医学基礎知識について修得できる。	脳神経外科学基礎修練1、2	
	(8)眼科学領域の医学基礎知識について修得できる。	眼科学基礎修練1、2	
	(9)耳鼻咽喉科学領域の医学基礎知識について修得できる。	耳鼻咽喉科学基礎修練1、2	
	(10)頭頸部外科学領域の医学基礎知識について修得できる。	頭頸部外科学基礎修練1、2	
	(11)皮膚科学領域の医学基礎知識について修得できる。	皮膚科学基礎修練1、2	
	(12)整形外科科学領域の医学基礎知識について修得できる。	整形外科科学基礎修練1、2	
	(13)形成外科学領域の医学基礎知識について修得できる。	形成外科学基礎修練1、2	
(14)神経系、運動機能、感覚機能に関わる代表的疾患の病態生理について説明できる。	神経・運動・皮膚・感覚器学I、II		
資格取得等			
履修に関する 情報	履修申請の際には事前相談に応じる。(問合せ先：内科学講座脳神経内科・老年科分野・内線6431)		

●在学中に履修できるカリキュラム

区分	配当年次	科目名	開講	コマ数	単位	修了までに 必要な単位	備考
研究特論	1年	演習 脳神経内科学基礎修練1	通年	30	4	20単位	
		演習 脳神経外科学基礎修練1	通年	30	4		
		演習 眼科学基礎修練1	通年	30	4		
		演習 耳鼻咽喉科学基礎修練1	通年	30	4		
		演習 頭頸部外科学基礎修練1	通年	30	4		
		演習 皮膚科学基礎修練1	通年	30	4		
		演習 整形外科科学基礎修練1	通年	30	4		
		演習 形成外科学基礎修練1	通年	30	4		
	2年	演習 脳神経内科学基礎修練2	通年	30	4		
		演習 脳神経外科学基礎修練2	通年	30	4		
		演習 眼科学基礎修練2	通年	30	4		
		演習 耳鼻咽喉科学基礎修練2	通年	30	4		
		演習 頭頸部外科学基礎修練2	通年	30	4		
		演習 皮膚科学基礎修練2	通年	30	4		
		演習 整形外科科学基礎修練2	通年	30	4		
		演習 形成外科学基礎修練2	通年	30	4		
	1年	講義 神経・運動・皮膚・感覚器学I	後期	15	2		
	2年	講義 神経・運動・皮膚・感覚器学II	前期	15	2		
特別研究	必修	1年	特別研究I (中間審査)	通年	15	4単位	
		2年	特別研究II (論文作成)	通年	15		

※他分野の単位取得は分野責任者に相談の上、教務課へ連絡してください。

●各科目の授業計画

神経・運動・皮膚・感覚器学

コード	MM12151010				MM12151020				MM12151030				MM12151040			
科目	脳神経内科学基礎修練 1				脳神経外科学基礎修練 1				眼科学基礎修練 1				耳鼻咽喉科学基礎修練 1			
科目責任者	前田哲也				脳神経外科学講座教授				黒坂大次郎				志賀清人			
担当者	前田哲也、板橋亮、工藤雅子、高橋真、鈴木真紗子、大浦一雅、石塚直樹				脳神経外科学講座教授、久保慶高、吉田研二、西川泰正				黒坂大次郎、田中三知子				志賀清人、片桐克則			
会場	脳神経内科・老年科医局 他				脳神経外科医局 他				眼科医局（内丸・矢巾）他				西8A カンファレンスルーム（矢巾）			
区分等	区分	演習	単位	4	区分	演習	単位	4	区分	演習	単位	4	区分	演習	単位	4
	回数	通年30コマ	配当年次	1	回数	通年30コマ	配当年次	1	回数	通年30コマ	配当年次	1	回数	通年30コマ	配当年次	1
主な授業内容	基礎修練1：脳神経系の解剖学、生理学など基礎知識				基礎修練1：脳脊髄の脳神経外科診療および研究に関する基礎知識				基礎修練1：眼科診療に関連する基礎知識				基礎修練1：耳鼻咽喉科診療に関連する基礎知識			
教育成果	基礎修練1：脳神経系の解剖学、生理学について理解し病態に応じた説明ができる。				基礎修練1：脳脊髄の脳神経外科診療および研究に関するエビデンスを理解し病態に応じた説明ができる。				基礎修練1：眼科診療に関連するエビデンスを理解し病態に応じた説明ができる。				基礎修練1：耳鼻咽喉科診療に関連するエビデンスを理解し病態に応じた説明ができる。			
SBO	分野の達成目標 (1)、(2)、(3)、(4)、(6)				分野の達成目標 (1)、(2)、(3)、(4)、(7)				分野の達成目標 (1)、(2)、(3)、(4)、(8)				分野の達成目標 (1)、(2)、(3)、(4)、(9)			
特記事項	各講義に対する事前事後学修は4時間程度を求め、各人の研究テーマに沿った英語論文の収集と読解を中心に行うこと。内容は担当教員に確認すること。 全講義終了後は速やかに「受講票・履修報告書」をWeb Classにアップロードすること。 「受講票・履修報告書」の記載が不十分な場合は、担当教員がコメントをつけて返却するので、期日までに再提出すること。															
評価方法	「受講票・履修報告書」により総合的に評価する。成績は、ABCD (A:100～80点、B:79～70点、C:69～60点、D:59～0点) の4段階評価とし、ABC (60点以上) を合格とする (60点未満は再提出)。															
講義日程	時間割参照															
教科書参考書																

コード	MM12151050				MM12151060				MM12151070				MM12151080			
科目	頭頸部外科学基礎修練 1				皮膚科学基礎修練 1				整形外科基礎修練 1				形成外科学基礎修練 1			
科目責任者	志賀清人				天野博雄				土井田稔				櫻庭実			
担当者	志賀清人、片桐克則				天野博雄、馬場俊右、角田加奈子、三浦慎平				土井田稔、佐藤光太郎、菅原敦、山部大輔				櫻庭実、本多孝之			
会場	頭頸部外科医局 他				皮膚科医局 他				整形外科医局 他				形成外科医局 他			
区分等	区分	演習	単位	4	区分	演習	単位	4	区分	演習	単位	4	区分	演習	単位	4
	回数	通年30コマ	配当年次	1	回数	通年30コマ	配当年次	1	回数	通年30コマ	配当年次	1	回数	通年30コマ	配当年次	1
主な授業内容	基礎修練1：頭頸部外科診療に関連する基礎知識				基礎修練1：皮膚科診療に関連する基礎知識				基礎修練1：整形外科診療に関連する基礎知識				基礎修練1：形成外科診療に関連する基礎知識			
教育成果	基礎修練1：頭頸部外科診療に関連するエビデンスを理解し病態に応じた説明ができる。				基礎修練1：皮膚科診療に関連するエビデンスを理解し病態に応じた説明ができる。				基礎修練1：整形外科診療に関連するエビデンスを理解し病態に応じた説明ができる。				基礎修練1：形成外科診療に関連するエビデンスを理解し病態に応じた説明ができる。			
SBO	分野の達成目標 (1)、(2)、(3)、(4)、(10)				分野の達成目標 (1)、(2)、(3)、(4)、(11)				分野の達成目標 (1)、(2)、(3)、(4)、(12)				分野の達成目標 (1)、(2)、(3)、(4)、(13)			
特記事項	各講義に対する事前事後学修は4時間程度を求め、各人の研究テーマに沿った英語論文の収集と読解を中心に行うこと。内容は担当教員に確認すること。 全講義終了後は速やかに「受講票・履修報告書」をWeb Classにアップロードすること。 「受講票・履修報告書」の記載が不十分な場合は、担当教員がコメントをつけて返却するので、期日までに再提出すること。															
評価方法	「受講票・履修報告書」により総合的に評価する。成績は、ABCD (A:100～80点、B:79～70点、C:69～60点、D:59～0点) の4段階評価とし、ABC (60点以上) を合格とする (60点未満は再提出)。															
講義日程	時間割参照															
教科書参考書																

●各科目の授業計画

神経・運動・皮膚・感覚器学

コード	MM12151090				MM12151100				MM12151110				MM12151120			
科目	脳神経内科学基礎修練 2				脳神経外科学基礎修練 2				眼科学基礎修練 2				耳鼻咽喉科学基礎修練 2			
科目責任者	前田哲也				脳神経外科学講座教授				黒坂大次郎				志賀清人			
担当者	前田哲也、板橋亮、工藤雅子、高橋真、鈴木真紗子、大浦一雅、石塚直樹				脳神経外科学講座教授、久保慶高、吉田研二、西川泰正				黒坂大次郎、田中三知子				志賀清人、片桐克則			
会場	脳神経内科・老年科医局 他				脳神経外科医局 他				眼科医局（内丸・矢巾）他				西8A カンファレンスルーム（矢巾）			
区分等	区分	演習	単位	4	区分	演習	単位	4	区分	演習	単位	4	区分	演習	単位	4
	回数	通年30コマ	配当年次	2	回数	通年30コマ	配当年次	2	回数	通年30コマ	配当年次	2	回数	通年30コマ	配当年次	2
主な授業内容	基礎修練 2： 脳神経系の生化学、病理学など基礎知識				基礎修練 2： 脳血流代謝の研究および診療に関連する基礎知識				基礎修練 2： 眼科研究に関連する基礎知識				基礎修練 2： 耳鼻咽喉科研究に関連する基礎知識			
教育成果	基礎修練 2： 脳神経系の生化学、病理学について理解し病態に応じた説明ができる				基礎修練 2： 脳血流代謝の研究および診療に関連するエビデンスを理解し病態に応じた説明ができる				基礎修練 2： 眼科研究に関連するエビデンスを理解し病態に応じた説明ができる				基礎修練 2： 耳鼻咽喉科研究に関連するエビデンスを理解し病態に応じた説明ができる			
SBO	分野の達成目標				分野の達成目標				分野の達成目標				分野の達成目標			
	(1)、(2)、(3)、(4)、(6)				(1)、(2)、(3)、(4)、(7)				(1)、(2)、(3)、(4)、(8)				(1)、(2)、(3)、(4)、(9)			
特記事項	各講義に対する事前事後学修は4時間程度を求め、各人の研究テーマに沿った英語論文の収集と読解を中心に行うこと。内容は担当教員に確認すること。 全講義終了後は速やかに「受講票・履修報告書」をWeb Classにアップロードすること。 「受講票・履修報告書」の記載が不十分な場合は、担当教員がコメントをつけて返却するので、期日までに再提出すること。															
評価方法	「受講票・履修報告書」により総合的に評価する。成績は、ABCD (A:100～80点、B:79～70点、C:69～60点、D:59～0点) の4段階評価とし、ABC (60点以上) を合格とする (60点未満は再提出)。															
講義日程	時間割参照															
教科書参考書																

コード	MM12151130				MM12151140				MM12151150				MM12151160			
科目	頭頸部外科学基礎修練 2				皮膚科学基礎修練 2				整形外科基礎修練 2				形成外科学基礎修練 2			
科目責任者	志賀清人				天野博雄				土井田稔				櫻庭実			
担当者	志賀清人、片桐克則				天野博雄、馬場俊右、角田加奈子、三浦慎平				土井田稔、佐藤光太郎、菅原敦、山部大輔				櫻庭実、本多孝之			
会場	頭頸部外科医局 他				皮膚科医局 他				整形外科医局 他				形成外科医局 他			
区分等	区分	演習	単位	4	区分	演習	単位	4	区分	演習	単位	4	区分	演習	単位	4
	回数	通年各30コマ	配当年次	2	回数	通年各30コマ	配当年次	2	回数	通年各30コマ	配当年次	2	回数	通年各30コマ	配当年次	2
主な授業内容	基礎修練 2： 頭頸部外科研究に関連する基礎知識				基礎修練 2： 皮膚科研究に関連する基礎知識				基礎修練 2： 整形外科研究に関連する基礎知識				基礎修練 2： 形成外科研究に関連する基礎知識			
教育成果	基礎修練 2： 頭頸部外科研究に関連するエビデンスを理解し病態に応じた説明ができる。				基礎修練 2： 皮膚科研究に関連するエビデンスを理解し病態に応じた説明ができる。				基礎修練 2： 整形外科研究に関連するエビデンスを理解し病態に応じた説明ができる。				基礎修練 2： 形成外科研究に関連するエビデンスを理解し病態に応じた説明ができる。			
SBO	分野の達成目標				分野の達成目標				分野の達成目標				分野の達成目標			
	(1)、(2)、(3)、(4)、(10)				(1)、(2)、(3)、(4)、(11)				(1)、(2)、(3)、(4)、(12)				(1)、(2)、(3)、(4)、(13)			
特記事項	各講義に対する事前事後学修は4時間程度を求め、各人の研究テーマに沿った英語論文の収集と読解を中心に行うこと。内容は担当教員に確認すること。 全講義終了後は速やかに「受講票・履修報告書」をWeb Classにアップロードすること。 「受講票・履修報告書」の記載が不十分な場合は、担当教員がコメントをつけて返却するので、期日までに再提出すること。															
評価方法	「受講票・履修報告書」により総合的に評価する。成績は、ABCD (A:100～80点、B:79～70点、C:69～60点、D:59～0点) の4段階評価とし、ABC (60点以上) を合格とする (60点未満は再提出)。															
講義日程	時間割参照															
教科書参考書																

●各科目の授業計画

神経・運動・皮膚・感覚器学

コード	MM12151170				MM12151180				MM12159010				MM12159020			
科目	神経・運動・皮膚・感覚器学Ⅰ				神経・運動・皮膚・感覚器学Ⅱ				特別研究Ⅰ				特別研究Ⅱ			
科目責任者	前田哲也				前田哲也				各(正)指導教員				各(正)指導教員			
担当者	前田哲也、板橋亮、工藤雅子、高橋真、鈴木真紗子、大浦一雅、石塚直樹				前田哲也、板橋亮、工藤雅子、高橋真、鈴木真紗子、大浦一雅、石塚直樹				各指導教員				各指導教員			
会場	脳神経内科・老年科医局 他				脳神経内科・老年科医局 他				各指導教員と相談の上決定				各指導教員と相談の上決定			
区分等	区分	講義	単位	2	区分	講義	単位	2	区分	演習	単位	2	区分	演習	単位	2
	回数	後期15回	配当年次	1	回数	前期15回	配当年次	2	回数	通年15コマ	配当年次	1	回数	通年15コマ	配当年次	2
主な授業内容	脳神経疾患に関わる運動器および感覚器の代表的疾患の病態学				脳神経疾患に関わる運動器および感覚器の代表的疾患の病態学				・生命科学や研究手法の基礎的な知識 ・研究計画調書の作成 ・中間審査の準備				・生命科学や研究手法の専門的、発展的な知識 ・論文作成 ・最終試験の準備			
教育成果	代表的神経疾患を修得し診断、治療に関する最新のエビデンスを修得する				代表的神経疾患を修得し診断、治療に関する最新のエビデンスを修得する				生命科学や研究手法の基礎的な知識を身につける。研究内容の討議を行い、質問に対し、適切に答えることができる。 <中間審査> 1年次末までに実施。 研究指導教員同席のもと非公開で実施する。研究計画調書に基づき、研究の概要及び進捗状況について口答で説明し、現在に至るまでの過程及び初期審査時の目標の達成度等について審査を受け、今後の研究の進め方について指導を受ける。				生命科学や研究手法の専門的な知識を身につける。最終試験に向けて、情報を適切に分析し、論旨を展開できる。 <論文作成> 学位申請までに実施。 論文作成に向けたデータ収集や解釈、図譜の作成や記載ができ、論文が作成できる。			
S B O 目 到 標 達	分野の達成目標 (1)、(2)、(3)、(4)、(6)、(14)				分野の達成目標 (1)、(2)、(3)、(4)、(6)、(14)				分野の達成目標 (2)、(3)、(5)				分野の達成目標 (2)、(3)、(6)			
	各講義に対する事前事後学修は4時間程度を求め、各人の研究テーマに沿った英語論文の収集と読解を中心に行うこと。内容は担当教員に確認すること。 全講義終了後は速やかに「受講票・履修報告書」をWeb Classにアップロードすること。 「受講票・履修報告書」の記載が不十分な場合は、担当教員がコメントをつけて返却するので、期日までに再提出すること。				各講義に対する事前事後学修は4時間程度を求め、各人の研究テーマに沿った英語論文の収集と読解を中心に行うこと。内容は担当教員に確認すること。 中間審査の詳細は、「中間審査の手引き」を参照。				各講義に対する事前事後学修は4時間程度を求め、各人の研究テーマに沿った英語論文の収集と読解を中心に行うこと。内容は担当教員に確認すること。 最終試験の詳細は、「最終試験の手引き」を参照。							
評価方法	「受講票・履修報告書」により総合的に評価する。成績は、ABCD (A:100～80点、B:79～70点、C:69～60点、D:59～0点) の4段階評価とし、ABC (60点以上) を合格とする (60点未満は再提出)。				「受講票」により総合的に評価する。成績は、ABCD (A:100～80点、B:79～70点、C:69～60点、D:59～0点) の4段階評価とし、ABC (60点以上) を合格とする (60点未満は再提出)。											
講義日程	時間割参照															
教科書参考書																

●時間割

神経・運動・皮膚・感覚器学

【前期】	講義時間	月	火	水	木	金	土
1 限	8:50~10:20	脳神経内科学基礎修練1	脳神経外科学基礎修練1・2				基礎科目
2 限	10:30~12:00	脳神経内科学基礎修練2					
3 限	13:00~14:30						
4 限	14:40~16:10						
5 限	18:00~19:30	神経・運動・皮膚・感覚器学Ⅱ 整形外科基礎修練1・2	耳鼻咽喉科学基礎修練1・2	皮膚科学基礎修練1・2			
6 限	19:40~21:10	頭頸部外科学基礎修練1・2 眼科学基礎修練1・2	形成外科学基礎修練1・2				
【後期】	講義時間	月	火	水	木	金	土
1 限	8:50~10:20	脳神経内科学基礎修練1	脳神経外科学基礎修練1・2				基礎科目
2 限	10:30~12:00	脳神経内科学基礎修練2					
3 限	13:00~14:30						
4 限	14:40~16:10						
5 限	18:00~19:30	眼科学基礎修練2	神経・運動・皮膚・感覚器学Ⅰ 整形外科基礎修練1・2 耳鼻咽喉科学基礎修練1・2	皮膚科学基礎修練1・2			
6 限	19:40~21:10	頭頸部外科学基礎修練1・2 眼科学基礎修練1	形成外科学基礎修練1・2				

※「特別研究Ⅰ～Ⅱ」は各科の指導教員と相談の上設定します。

<履修スケジュール> ※各自記録してください。

【前期】	講義時間	月	火	水	木	金	土
1 限	8:50~10:20						
2 限	10:30~12:00						
3 限	13:00~14:30						
4 限	14:40~16:10						
5 限	18:00~19:30						
6 限	19:40~21:10						

【後期】	講義時間	月	火	水	木	金	土
1 限	8:50~10:20						
2 限	10:30~12:00						
3 限	13:00~14:30						
4 限	14:40~16:10						
5 限	18:00~19:30						
6 限	19:40~21:10						